

日本最大のタクシーアプリ「全国タクシー」運営の「JapanTaxi」が 「未来創生ファンド」より 10.5 億円を資金調達へ 累計調達額 91.5 億円に

JapanTaxi 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：川鍋 一郎、以下、JapanTaxi）は、スパークス・グループ株式会社（代表取締役社長：阿部 修平）を運営者とし、2015 年より運用を開始した「未来創生ファンド」を引受先とする第三者割当増資による 10.5 億円の資金調達を実施することをお知らせします。

JapanTaxi は 2017 年 6 月に「未来創生ファンド」から 5 億円の資金調達を実施。その後、同年 10 月に「タクシー会社（社名は非公表）2 社」から総額 1 億円、2018 年 2 月には「トヨタ自動車株式会社」から約 75 億円、今回の未来創生ファンドからの 10.5 億円を合わせると累計 91.5 億円の資金調達を実施することになります。

IoT・ビッグデータ・AI 社会の到来により、産業構造や社会構造が大きく変化する中、「移動」についても大きな転換期を迎えています。少子高齢化が加速する中、「移動」の重要性はさらに高まり、従来の移動の枠組みを超えた大規模な社会のインフラとしての役割が求められると考えます。

これまでの資金調達により、「移動」の課題を解決するとともに「移動」に伴い発生するデータの利活用により、日本のモビリティ革命を実現し、社会インフラの進歩に貢献していきます。お客様の乗車体験を高めることは勿論ですが、タクシー事業者に対しても業務効率の高いオペレーションシステム等の開発・提供を強化することで、タクシー事業者が抵抗感なくデジタルイノベーションを促進できる環境を整備します。また、急速に変化する外的環境に対応すべく、「全国タクシー」アプリの操作性の向上や配車時間の短縮、革新的な新機能等を追加し、2020 年までに配車可能タクシー台数を 9 万台（全国のタクシー台数の約 40%のシェア）に、累計アプリダウンロード数を 1,600 万件に伸ばし、「純国産の国民的タクシーアプリ」としての地位を確たるものにします。

※未来創生ファンドについて

未来創生ファンドはスパークス・グループ株式会社を運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社の出資で、2015 年 11 月より運用を開始しました。2017 年 12 月末時点では、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けています。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に投資を行います。[\(https://mirai.sparx.co.jp/\)](https://mirai.sparx.co.jp/)

■JapanTaxi 株式会社について

ウェブサイト：<https://japantaxi.co.jp/>

売上日本一のタクシー会社・日本交通株式会社を母体とし、モビリティ分野のソフトウェア・ハードウェア開発を行う IT ベンチャー企業です。「移動で人を幸せに」をテーマに、日本最大のタクシーアプリ「全国タクシー」、タクシー車内サイネージ広告「TOKYO PRIME」、多言語対応・決済機付きタブレットなど、新しい公共交通のインフラを創っていきます。

■全国タクシーアプリについて

2011 年 12 月にサービスを開始してからシリーズ累計ダウンロード数 400 万超（2017 年 12 月現在）、日本最大のタクシー配車アプリです。47 都道府県・60,000 台超（全国のタクシー台数の 25%）をネットワーク、多言語対応（英語・中国語・韓国語）、タクシー料金検索、クレジットカード/QR コードによるキャッシュレス決済など、タクシーのユーザビリティを最適化します。

■本プレスリリースに関するお問い合わせ

JapanTaxi 株式会社 社長室

TEL:03-6265-6236

Email: pr@japantaxi.co.jp